

ヒヤリ・ハット事例の現状と課題

- ほとんどの団体がデブリーフィング等で振り返りを実施しているが、過去の事例を蓄積している団体が少ない。（消防防災ヘリコプター安全確保の再徹底状況調査より）
 - ⇒ 事故防止について、潜在危険予測に関するノウハウを伝承していくためにも、データを蓄積し共有していく取組が必要

ヒヤリ・ハット事例の他機関の取組

- 各部隊からヒヤリハット事例の集約を行い、匿名化を行った上で、各機関のホームページ上において、ヒヤリハット事例を公開
- 当該ホームページの閲覧については、関係職員のみが可能（パスワードによる保護）
 - ⇒ 事故防止に大きな成果



消防防災航空隊のヒヤリ・ハット事例の共有

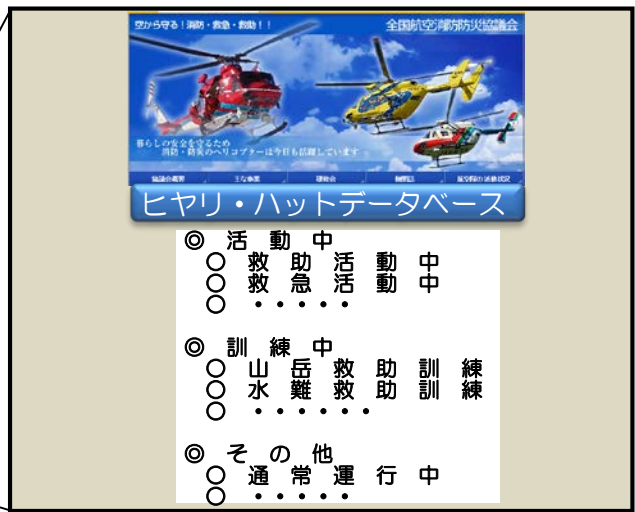
航空消防体制の確立に資するもの
関係職員のみが閲覧するホームページ



全国航空消防防災協議会
ホームページにて運用

- 各航空隊から事例提供
 - ⇒積極的な事例提供には、匿名性が必要
- 関係職員のみが閲覧可能
 - ⇒パスワードを設定

パスワードを設定
⇒各航空隊に
パスワードを付与



【ホームページイメージ図】